

河川管理者の謝罪を要求する。

住民対話集会 参加者 小山公久

第65回委員会 (H19.10.23) 審議資料 2-5

「淀川水系河川整備計画原案等に関する質問意見集」
別紙集の623 (43ページ)

第5回 住民対話集会 意見のまとめ抜粋 として

開催日 平成16年9月4日

開催場所 上野フレックスホテル 209

A716-70:代替案について

の一部を意図的に
討論内容の

今回の資料として提供された。

私は、激しい 11までおりに持って、河川管理者の責任を問う。

第1点. 住民対話集会としては、H16.9月25日の第6回
住民対話集会で最終的な作成作業を行って、
「提案書」として提出されたはずであり、

11また、討論中の検討内容資料を、流域委員会
に提出した事は、許される事である。

9月25日「提案書」以外の、許されるわけがない。謝罪せよ。
併せて
を示す

第2点 住民対話集会として、討論を重ねて「提案書」を
提出したのに、その中で多くの質問や疑問点には
答える努力をせよ、又、貴重な住民の意見や提案
については、検討せよ、この形を以て、意図的に
利用された点には、進行役の桑子敏雄先生も
ご存知の上での事か?

「提案書」中の質問に対する回答を要求する。
又、提案に対する検討結果も明らかにせよ。

第3点 3.ダムを作らずにダム以外の施設を作ることも
前提とした検討 かつ一つの意見まで、次のページ
を講じている。参考までに述べて、さらに5つの意見と

4.ダムを作らず一旦凍結して再検討の4つの意見
であり、本来は意図的に利用されたか、許せぬ。